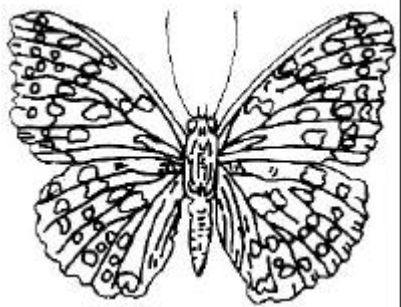


台風一過。山梨の巨峰。高原のトレインはもう秋の匂いがした。

オオムラサキの里大会
2005年9月25日(日) 山梨県北社市



日本の国蝶オオムラサキ
トレインのある山梨県北社市長坂町は日本の生息地。

秋のはじまり

彼岸の東京に台風が近づき、雨を激しく降らせている。そんな中、車を走らせて八ヶ岳まで行くと、台風は過ぎ周囲の風景は秋へと変わってゆく。

暑さ寒さも彼岸まで。いよいよ秋のオリエンテーリングシーズンの幕開け。お彼岸を境に全国各地でイベントが開催されるようになる。ここ八ヶ岳の山麓にも約100名が集まり秋のシーズン開幕を告げるレースが行われた。

巨峰が賞品!

今回の注目は賞品の巨峰。上位3名までに山梨名物の巨峰が箱で提供されるとプログラムに書いてある。思いがけず豪華な賞品に俄然意欲は盛り上がる。「ふいふいふ、今回は賞品ゲットだぜ。」

ところが前日から思い切り体調を崩す。カゼだ。不参加も考えたが、事情でとりあえず会場までは足を運ぶ。

「カゼなんて、オリエンテーリング走って汗掻けば治っちゃうよ。」

気楽なコト言っているうちの家族って、なんて体が雑に出来ているんでしょ。もう賞品どころではないが、ひとまずスタート枠に入った。

八ヶ岳は秋の香り

W40は7900m。いつもなら「まあちょっとハードかなあ」と思うくらいだが、カゼひきにはすごくハード。

体調が悪いが、この八ヶ岳山麓のテ

レインを楽しみたいという意思のほうが勝っていた。基本的に丘陵地のトレインだが比較的傾斜が緩い。トレインの特性上道を走るところが多いが、通行可能のいい森も多い。どこかでレースを棄権するかもしれないと思いつつ結局最後まで淡々とレースをこなすことができた。



オオムラサキのポーズ? でフィニッシュ

ハードコースに奥様フーツ!

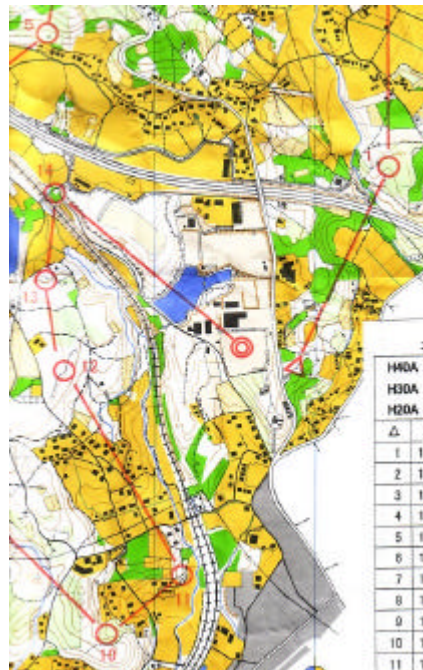
しかしそれよりも心配なのはW40A。M20、M30、M40、W20、W30、W40すべてが同じ7900mのコースなのだ。女子40歳以上の人たちに取ってみれば普通のレース距離の2倍になる。上位はともかく、普段ロクなトレーニングをしていない奥様方はちゃんと帰ってこれるのか?

心配は的中した。W40に参加したうちの家族はちっとも帰ってこない。そのうち会場での表彰式が終わり、参加者の殆どが会場を後にしても、まだフィニッシュしない。結局3時間30分ほどかかってフィニッシュ。それでも3位となって最後の最後に表彰されていた。

W40はトップでも2時間30分だった。奥様がたにはちょっとハードな秋の始まりとなった。

「W40は参加者が少ないので、完走すれば葡萄だ!」と思って最後までがんばった。」

2位3位に入った奥様がたは口を揃えてそう語った。物欲恐るべし。秋の味覚を堪能する前の十分なダイエット効果があったことを期待したい。



トレインは中央自動車道八ヶ岳パーキングエリアの周囲。電車で高速道路でもアクセスはバツグンのトレイン

成績速報

ME 篠原岳夫	渋谷で走る会	1:14:02
M70 山西一徳	入間市 OLC	1:12:13
M60 小笠原陽太郎	東京 OLC	0:51:55
M50 加藤昭治	愛知 OLC	0:47:20
M40 小泉辰喜	東京 OLC	1:26:50
M30 太田宏樹	渋谷で走る会	1:19:14
M20 福田雅秀	川越 OLC	1:15:49
M18 町井瑞希	多摩 OL	1:01:24
MN 木村友佳	長野県協会	0:56:35
WE 高野由紀	入間市 OLC	1:47:51
W60 加藤伶子	入間市 OLC	1:30:24
W50 植松裕子	高崎 OLC	1:13:40
W40 齋藤まどか	川越 OLC	2:30:10
W30 天野理香	横浜 OLC	2:10:40
W18 高野美春	入間市 OLC	1:01:17
WN 大塚ふみ子	千葉 OLK	1:14:04

(木村佳司 HG)